

今月の寺ともさん *spray artist* Daisuke Iguchi さん



今月の寺ともさんは、スプレーアーティストの Daisuke Iguchi さんです。Daisuke さんは、今から 5 年程前自室が殺風景だと思っていた矢先、ある外国人がたった 45 秒でスプレーで見事な絵を描く動画を観たのがキッカケで、スプレーアートを始めたそうです。しかも Daisuke さん、それまでは絵を描いた経験が一度もなかったというから驚きです。衝撃を受けてすぐに百円均一の店に走り、スプレーと用紙を買って描きはじめたのです。

そして半年後には、ご縁に恵まれて木太町のワズカフェで個展を開くに至りました。スプレーアートとは、もともとアメリカ発祥です。路上で何の下書きもなくひらめいたままを、スプレーを使って短時間で描き上げるアートです。この左の鳥が羽ばたく作品もスプレーアートです。3 年前からは作品の注文依頼が増え始め、鑑賞用はもちろん、子供さんの就職祝いのプレゼントとしての依頼や、居酒屋・美容室・カフェ・バーの看板なども制作依頼が舞い込み、塩江美術館や国分寺ホールでの個展もされ、今月 1 日から月末まで、再びワズカフェで個展を開かれます。気に入った作品を購入することもできます。今では県内はじめ、東京や海外まで言葉を越えたアートのつながりが広がっているそうです。今後とも活躍をお祈りしています。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：ジャック
性別：♂
お年：7 歳
種類：フラットコート・レトリバー
好物：小枝でも何でも食べる
苦手：高木さんのお嬢さん
住所：高木さん宅(高松市)
性格：人懐っこい

ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：とにかく大型犬を飼いたかったお嬢さんが、ペットショップで見つけた珍しいレトリバーがジャックでした。やんちゃなジャックはご近所の七軒のお家を一軒一軒イタズラして回ったこともあります。新聞紙なんかもビリビリにしちゃったり、ゴミ袋も散乱させます。その上お母さんの言うことも聞きません。でもただ一人、娘さんの言うことだけには従います。何でもスパルタ教育でしつけたからだそうです。

***** 総代さん便り *****

総代の本川です。がん患者の心を受け止める場「がん哲学外来」を、全国各地に広げている樋野興夫医師の「言葉の処方箋」の一部を紹介します。

- ① 人生いばらの道、にもかかわらず宴会（旧約聖書より）。
苦しい人生であっても、うたげの心をもって明るく暮らそう。
- ② 病になり初めに心がけることは、病の優先順位を下げること。
病にのみ関心を向けると不安になるばかり。それより自分の人生や生活で何を優先すべきかを考え行動に移そう。
- ③ 病気であっても、病人ではない。
病にかかっても、私は変わらず私自身だと自覚し、自分らしく生きよう。
ただ一人の私のためと感じられる言葉に、共感する人が増え続けています。
(参考) 「がん哲学外来で処方箋を」 樋野興夫、日本キリスト教団出版局 他

